

菊池市 男女共同参画に関する 市民意識調査結果報告書

概要版

2014(平成26)年度



菊池市

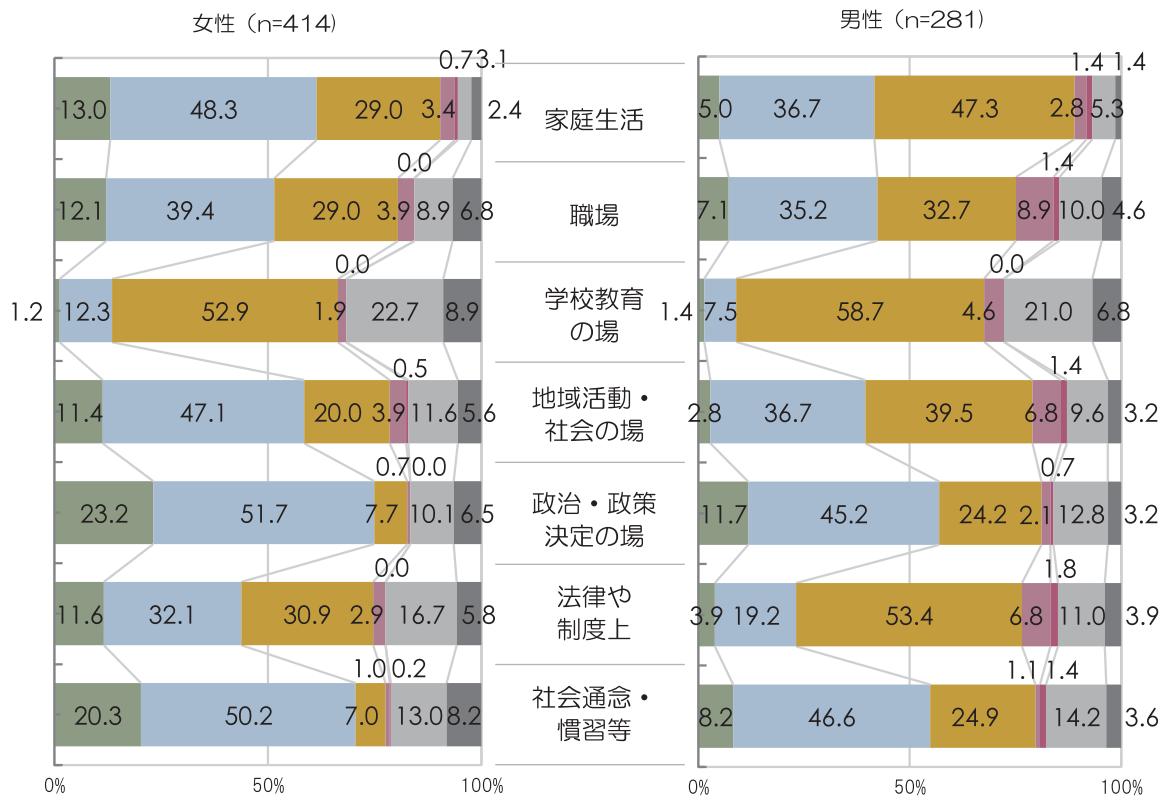
1 男女平等について

各分野における男女平等の認識

Q. 社会の色々な面において、男女は平等になっていると思いますか。

男女平等の認識について、「学校教育の場」では平等と感じている割合が最も高く、一方、「政治・政策決定の場」や「社会通念・慣習」などの昔からある習慣に基づく分野では、不公平感が強くなっています。

多くの分野において、男性は『平等』、女性は『男性の方が優遇』と感じている割合が高いことがわかります。



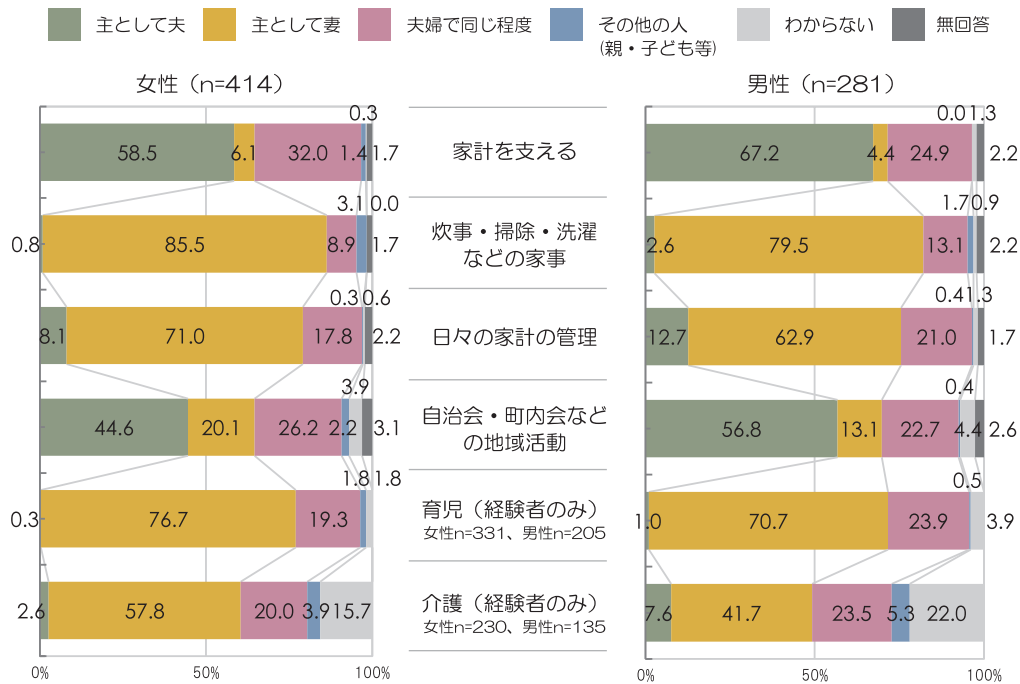
性別によって役割を固定する考えに反対である人が多いものの、実際には、家事や日々の家計の管理、育児・介護は、主に女性が分担していると回答している人が多く、家庭生活での女性の負担が大きいことがわかります。

2 家庭生活について

家庭における役割分担

Q.あなたの家庭では、家庭内の仕事を主にどなたがしていますか。

家庭における役割分担について、「炊事・掃除・洗濯などの家事」「育児」は男女ともに「主として妻」とする割合が高くなっています。



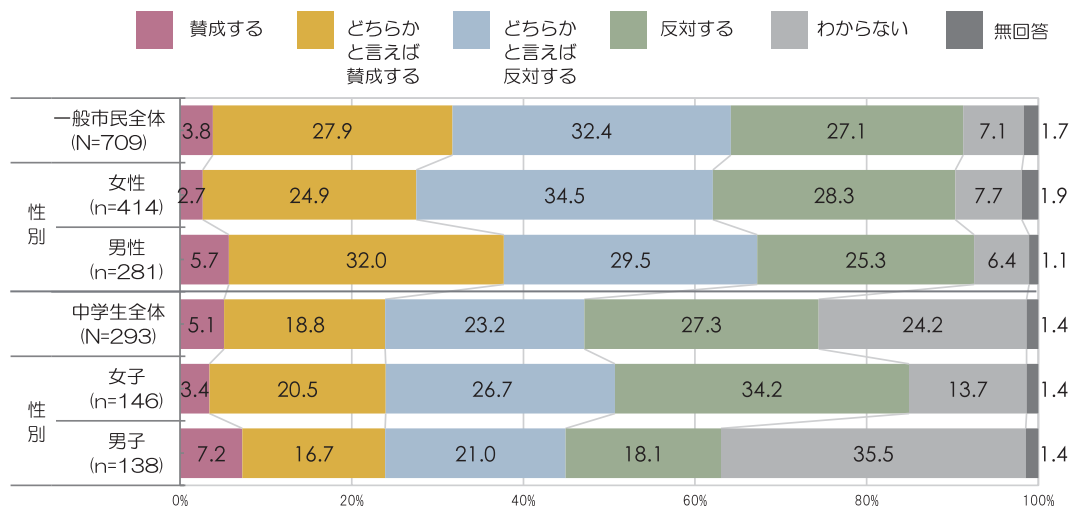
※育児・介護は経験者のみの回答項目であるため、無回答者を未経験者として扱い除いて集計している。

性別による役割を固定する考え方

Q.「男は仕事、女は家庭」など性別によって役割を固定する考え方についてどう思いますか。

「男は仕事、女は家庭」という考え方について、男女ともに“反対”（「反対する」「どちらかといえば反対する」を合わせた回答）の割合が高く、女性は62.8%、男性は54.8%となっています。

中学生のアンケート結果では、女子にくらべると、男子の方は「わからない」の割合が高く、性別によって役割を固定する考え方に「反対する」の割合は16.1ポイントも低くなっています。



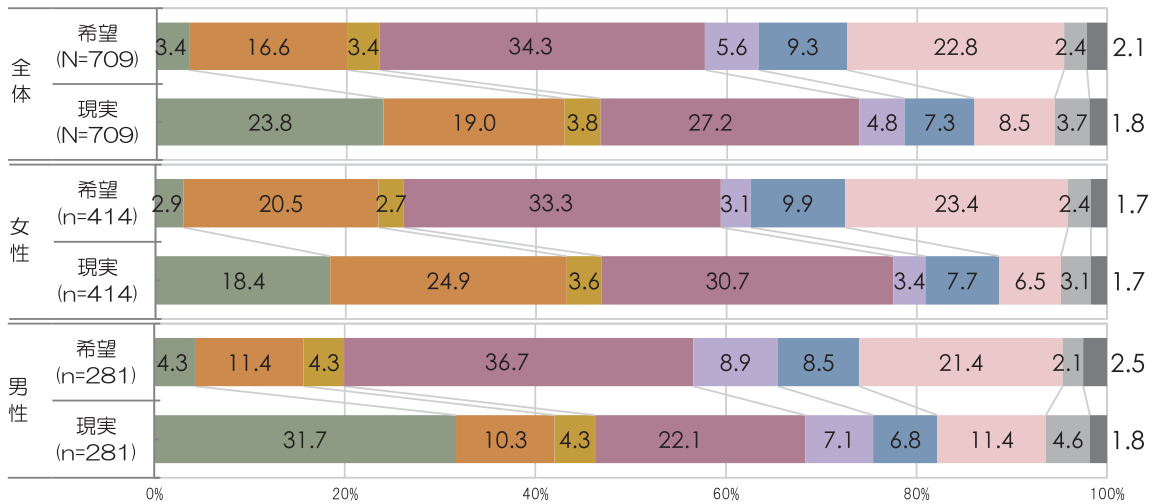
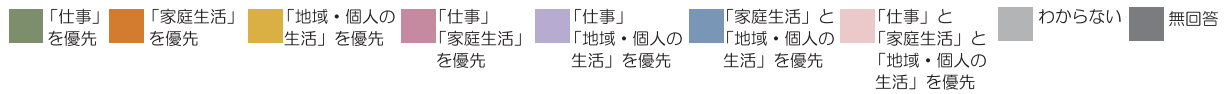
3 仕事と家庭の調和 (ワーク・ライフ・バランス) について

生活の中で優先したいこと・優先していること

Q. あなたが生活を送るうえで、希望に近いもの・現実に近いものをお答えください。

「仕事」「家庭生活」「地域・個人の生活」の優先について、「仕事」を優先（希望 3.4%、現実 23.8%）は現実が希望よりも 20.4 ポイント高く、最も差が大きくなっています。

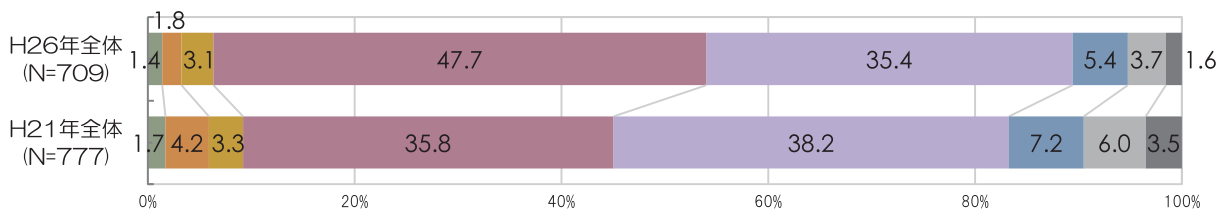
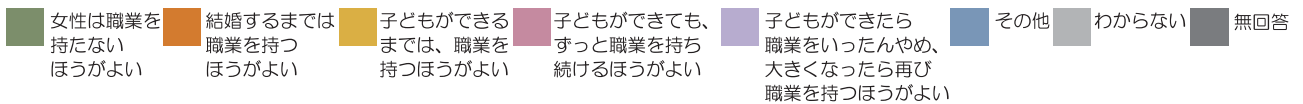
男性は、「仕事」「家庭生活」を両立したいという希望が最も多いものの、現実には「仕事」を優先しているという回答が最も多くなっています。また、「仕事」を優先は、現実が希望を 27.4 ポイントも上回っていることから、理想と現実にずれが生じていることがわかります。



女性の仕事について

Q. 女性が職業を持つことについて、どのようにお考えですか。

女性が職業を継続または中断・再就職することに賛成という回答が8割以上を占めており、女性は職業を持たない、あるいは結婚や出産を機に退職する方がよいという考えは少数意見となっています。また、前回調査（H21年度）と比べると「子どもができて、ずっと職業を持ち続けたほうがよい」が 11.9 ポイント増えています。



4 子育て・教育について

子どもの育て方

Q.あなたは、子どもの育て方についてどのように考えていますか。

「男の子は男らしく、女の子は女らしく育てる」という考え方は根強く残っており、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた回答は、一般市民において、女性が62.6%、男性が76.8%、中学生において、女子が67.8%、男子が65.9%となっています。

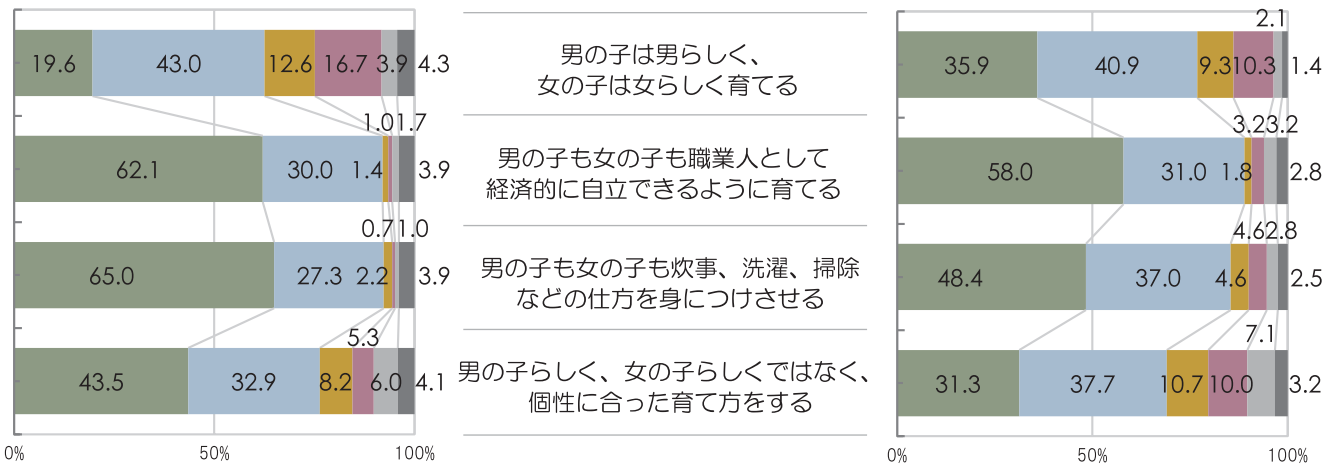
一方、「男の子も女の子も職業人として経済的に自立できるように育てる」「男の子も女の子も炊事、洗濯、掃除などの仕方を身につけさせる」といった、性別に関係なく育てる考え方には、一般市民において、男女ともに約9割が、中学生においては、女子の9割以上、男子の約8割が肯定的に捉えています。

■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ■ どちらかといえばそう思わない ■ そう思わない ■ わからない ■ 無回答

【一般市民】

女性 (n=414)

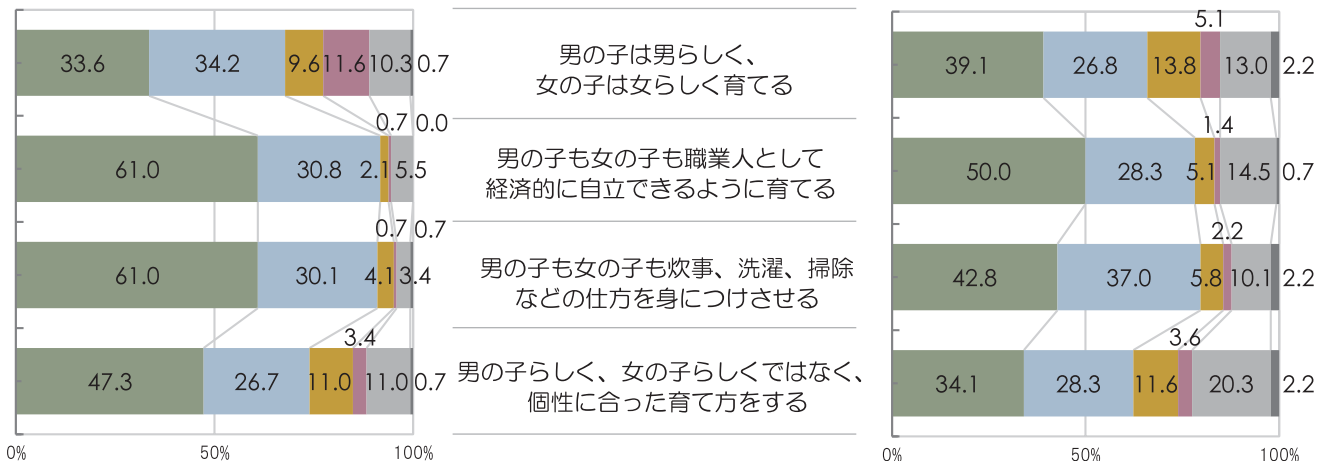
男性 (n=281)



【中学生】

女子 (n=146)

男子 (n=138)

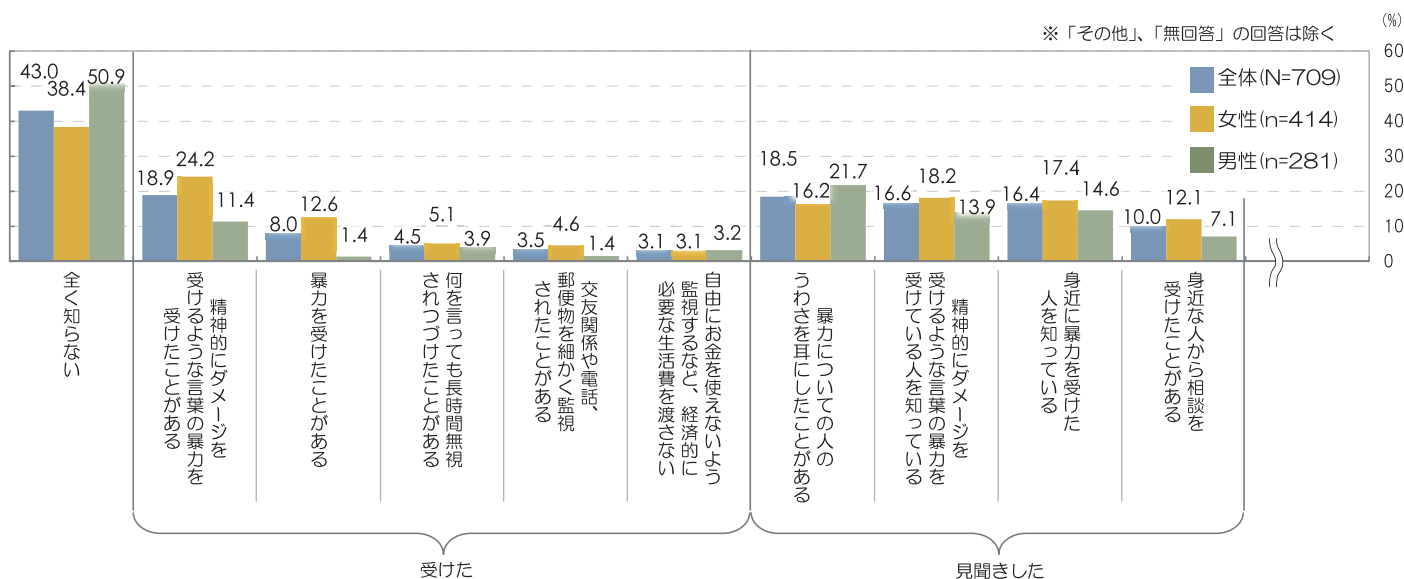


5 配偶者等からの暴力について

DVを受けた・見聞きした経験

Q. DVを受けたこと、身近で見聞きしたことがありますか。

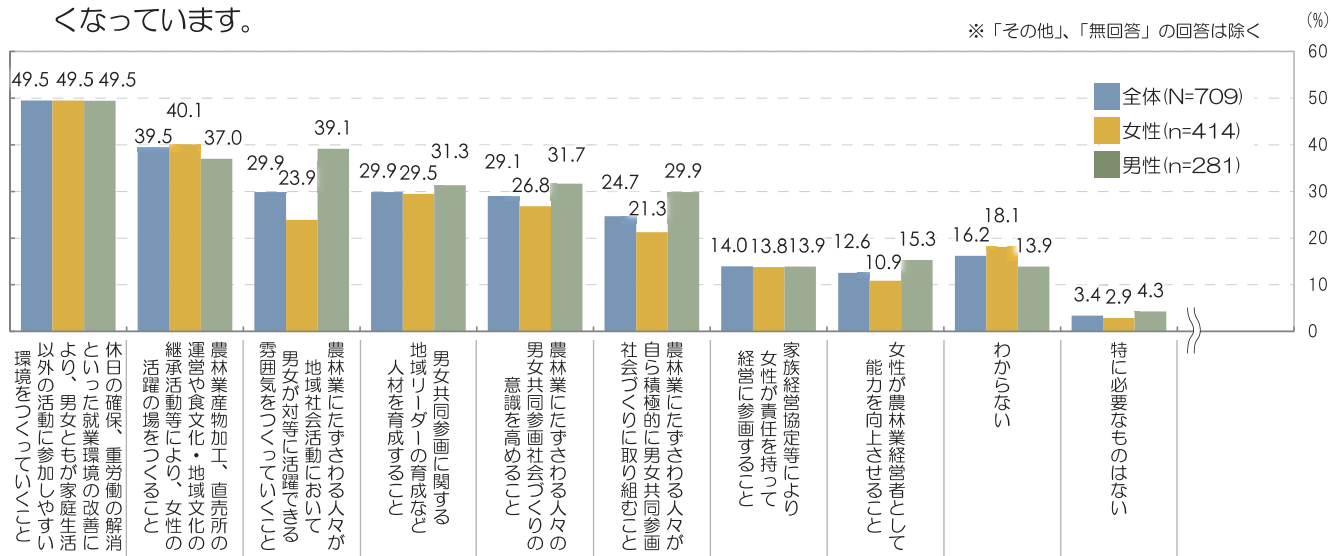
実際にDVを受けた内容としては、言葉の暴力などの精神的な暴力の他に、身体的な暴力を受けたと回答した女性は12.6%にも及んでいます。また、暴力を受けた項目の多くで女性の回答が上回っており、恋人や配偶者からの暴力は女性の被害が圧倒的に多いことがわかります。



農山漁村の分野

Q. 活力ある農産漁村の実現に向けて必要なことは何だと思えますか。

農山漁村の分野で必要なこととして、男女別に見ると「農林業にたずさわる人々が地域社会活動において男女が対等に活躍できる雰囲気をつくっていくこと」の回答は女性に比べて男性の回答が多くなっています。

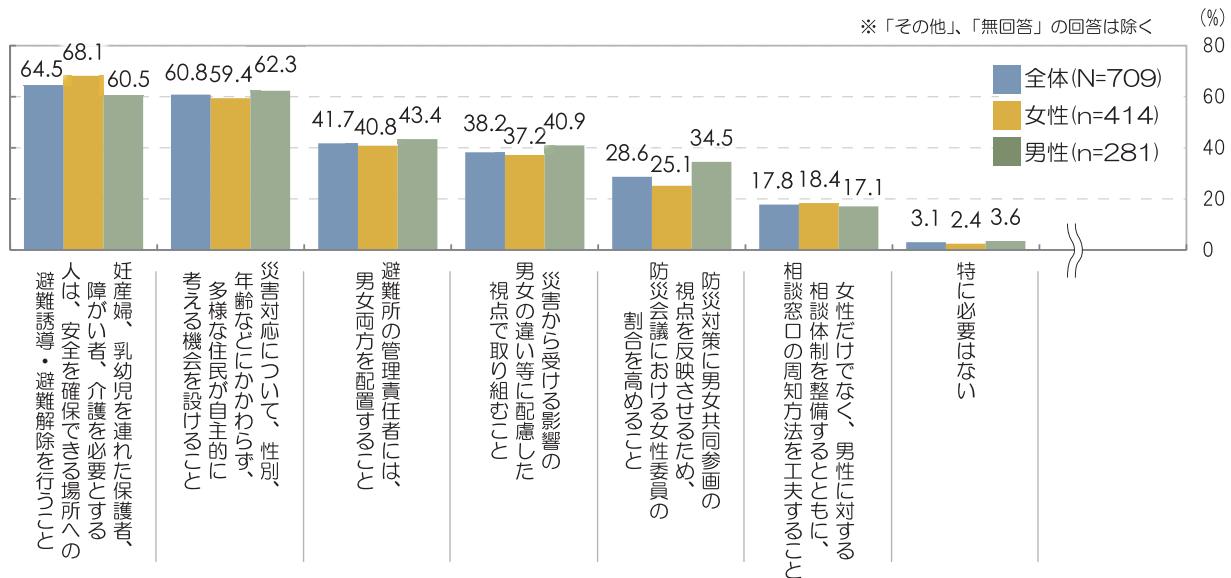


6 男女共同参画に必要なこと

防災の分野

Q. 防災の分野において、どのようなことが必要だと考えられますか。

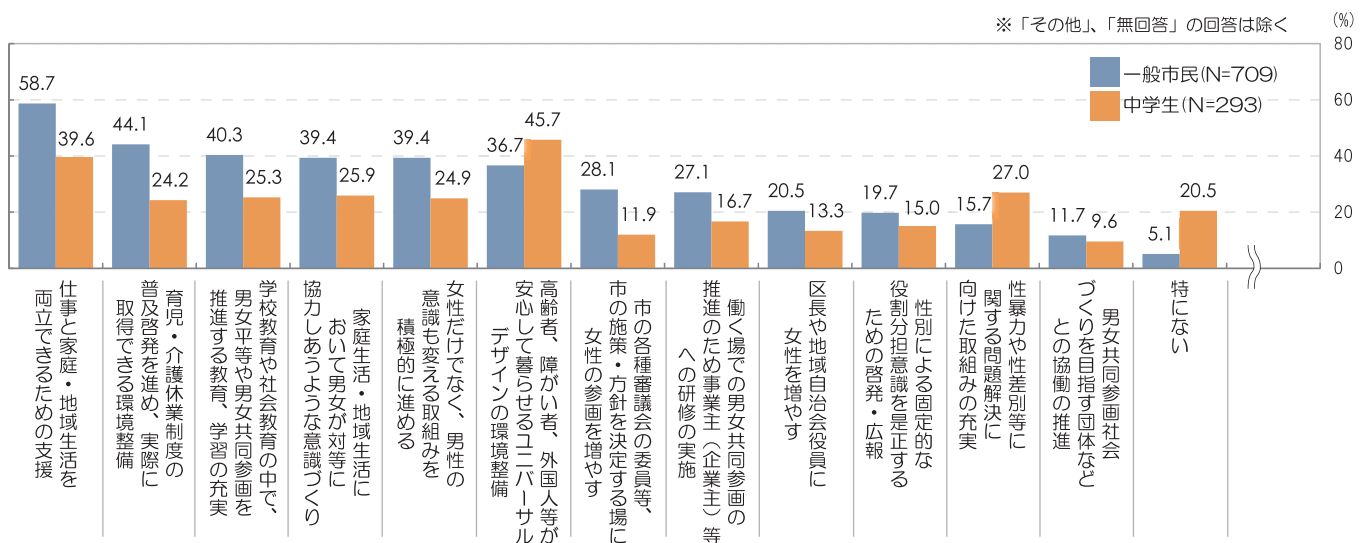
防災の分野で必要なこととして、男女別にみると、「防災対策に男女共同参画の視点を反映させるため、防災会議における女性委員の割合を高めること」の回答は女性に比べて男性の回答が多くなっています。



今後、菊池市が力を入れていくべきこと

Q. 男女共同参画社会の実現のために、菊池市はどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。

今後、菊池市が力を入れるべきことについてたずねたところ、一般市民では「仕事と家庭・地域生活を両立できるための支援」、中学生では「高齢者、障がい者、外国人等が安心して暮らせるユニバーサルデザインの環境整備」の回答が最も多くなっています。

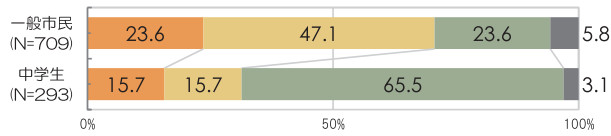


～ 男女共同参画に関する用語の認知度 ～

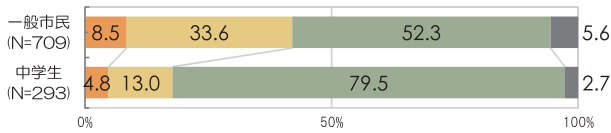
【用語の解説】

■ 知っている ■ 聞いたことがある ■ 知らない ■ 無回答

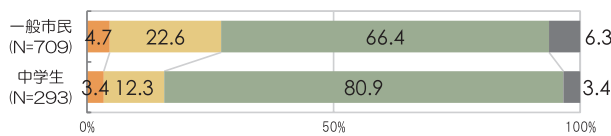
男女共同参画社会基本法



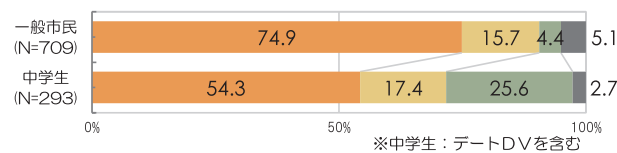
菊池市男女共同参画推進条例



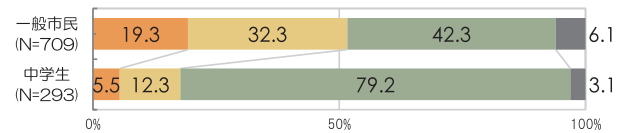
男女共同参画専門委員相談(菊池市設置)



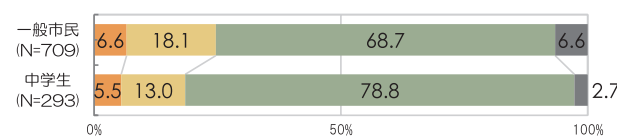
ドメスティック・バイオレンス (DV)



ワーク・ライフ・バランス



ポジティブ・アクション



■ 男女共同参画社会基本法

男女が互いに人権を尊重しつつ、責任も分かち合い、性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮できる男女共同参画社会の実現のために施行された法律です。

■ 菊池市男女共同参画推進条例

菊池市における男女共同参画を推進することを目的に設置した条例で、男女共同参画社会の形成の促進に関する施策について、基本となる事項を定め、総合的計画的に推進することを目的として制定しています。

■ 男女共同参画専門委員相談(菊池市設置)

菊池市において、男女共同参画の取組や、推進に影響を及ぼすと思われることに関しての相談、セクシュアル・ハラスメントなどの人権侵害に対する相談などに、専門委員が対応しています。

■ ドメスティック・バイオレンス (DV)

配偶者や恋人など親密な関係にある、又はあった者からの暴力のことを言います。暴力の形態としては身体的・精神的・経済的・性的・暴力、社会的隔離等があり、犯罪となる行為を含む重大な人権侵害として、社会全体の理解・支援が求められています。

■ ワーク・ライフ・バランス

一人ひとりがやりがいや充実感を感じながら働き、仕事上の責任を果たすとともに、家庭や地域生活などにおいても、子育て期、中高年期といった人生の各段階に応じて多様な生き方が選択・実現できることです。

■ ポジティブ・アクション

様々な分野において、活動に参画する機会の男女間の格差を改善するため、必要な範囲内において、男女のいずれか一方に対し、活動に参画する機会を積極的に提供するものであり、個々の状況に応じて実施していくものです。

【一般市民アンケート】

- 調査地域 …… 菊池市全域
- 調査対象者 …… 市内在住の20歳以上75歳未満の男女
- 対象者数 …… 2,000名
- 抽出方法 …… 層化2段階抽出法

- 調査方法 …… 郵送による配付・回収
- 調査期間 …… 平成26年6月2日～8月11日
- 回収数(率) …… 709名(35.5%)

【中学生アンケート】

- 調査対象者 …… 市内中学3年生293名
- 調査方法 …… 学校による配付・回収

- 調査期間 …… 平成26年6月2日～9月19日

※ 集計結果はすべて小数点第二位以下を四捨五入しているため、回答比率の合計は必ずしも100.0%にならない場合があります。
 ※ 回答は、各質問の回答者数(N)を基準とした百分率(%)で示します。

菊池市男女共同参画に関する市民意識調査結果報告書(概要版)

編集・発行 菊池市総務部男女共同参画推進課 2015(平成27)年3月

〒861-1392 熊本県菊池市隈府888番地

Tel: 0968-25-7210 / Fax: 0968-25-2929 / e-mail: danjo@city.kikuchi.lg.jp